

#2 内科 専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 横浜医療センター



内科領域全般の診療能力を 獲得するに最適な病院です

横浜医療センター 副院長
内科専門医研修プログラム統括責任者 **宇治原 誠**

横浜医療センターの内科専門研修プログラムについて

「横浜医療センター」の内科専門研修プログラムの研修期間は基幹施設(当院)2年間+連携・特別連携施設1年間の3年間となります。

当院は、32の診療科を擁する神奈川県横浜市西部医療圏の中心的な急性期病院として、地域の病診・病病連携の中核である一方、地域に根ざした病院であることも特徴です。common diseaseの豊富な経験はもちろん、複数の疾患を持った高齢患者さんも多いため、専門外

の診療分野に携わる機会も豊富にあり、さらに、地域の各病院、診療所、在宅訪問診療施設との地域医療連携も経験することができます。

当院のこうした特徴は、臓器別の内科系サブスペシャリティ分野の専門医にも共通して求められる、内科領域全般の診療能力を獲得するに最適な診療環境であると言えるでしょう。

横浜医療センターの 研修環境について

当院では内科領域全般の診療を

経験できることが特徴ですが、専門外であっても安心して診療に臨むことができるよう、急変があれば救急科がバックアップするなど他科からのサポートも充実しています。各診療科、気軽に相談やコンサルができ、研究会や勉強会にも自由に参加することができます。

また、医療安全対策やクレーム対応を決して現場任せにすることなく、しっかり病院で対応するため、余分なストレスなく、安心して積極的に経験を積むことができる環境も当院の大きな魅力です。

内科医を目指したい読者へ

内科医は患者さんと直接向き合う医師です。高い技術をもっていても、誠実で丁寧な説明によって患者さんに納得してもらわなければ、治療は上手くいきません。知識や技術をアップデートするために絶えず学び続けることはもちろん、誠実さと、コミュニケーション能力も磨いていただき、患者さんから頼りにされ、一人ひとりに最適な医療が提供できる内科医になってほしいと思います。

当院での内科専門研修プログラムでしたら、そうした内科医へと成長することができるはずです。



PROFILE

出身地 : 熊本県熊本市
出身大学 : 東京医科歯科大学 (1984年卒)
座右の銘 : 他人の言うことに耳を傾ける。改善したいものは計測する。



国立病院機構
横浜医療センター
所在地 〒245-8575
神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2
WEB <https://yokohama.hosp.go.jp>

病床数 **510** 床 診療科数 **32** 科

横浜医療センターの特徴

32診療科を有し、高度総合医療機能を持つ災害医療拠点病院であり、エイズ拠点病院や移植臓器提供施設でもあるためバランスのとれた卒業臨床研修が実施できる病院です。

VOICE × 専攻医

臨床だけではなく、 講演・論文作成も数多く経験

膠原病・リウマチ内科 **東谷 佳奈**

患者数が多く、診断、治療と幅広く経験を積むことができます。自分の意見や考えが治療方針に反映されるなど、勉強したことを患者さんに還元でき、感謝となって直接返ってくるのでやりがいもあります。研究・国際学会での講演・論文作成に数多くチャレンジできることも特徴です。

PROFILE

出身地 千葉県市川市
出身大学 横浜市立大学 (2017年卒)
宝物 携帯フォルダの写真
座右の銘 人生いろいろ



専門性を高めながら、 幅広い診療能力を習得

呼吸器内科 **廣瀬 知文**

研修の早い段階から、病棟業務、気管支鏡検査、初診外来などを経験させてもらっています。当院には多彩な診療科と総合内科外来があり、各診療科の横の繋がりが密でコンサルもしやすく、専門性を高めながら幅広い診療能力を習得できます。先生方の出身大学はさまざま、学閥も一切ない働きやすさも魅力です。

PROFILE

出身地 神奈川県横浜市
出身大学 北里大学 (2017年卒)
宝物 特になし
座右の銘 一期一会



患者背景にある、社会的問題を 解決できる力も獲得

腎臓内科 **森田 隆太郎**

目指す腎臓内科医にとって多彩な疾患の経験も必要だと思い、多くの診療科の揃った地域のの中核病院である当院を選びました。各科の風通しが良く、みな教育熱心で、誰でも気軽に相談しやすい環境です。患者さんは社会的問題を抱えている方も多く、臨床スキルだけではなく、幅広い問題を解決できる力も獲得できます。

PROFILE

出身地 福岡県田川市
出身大学 長崎大学 (2017年卒)
宝物 空手大会で優勝したメダルや盾
座右の銘 人事を尽くして天命を待つ

